



中型の猛禽類であるサシバは、東南アジアから春に日本に渡来して繁殖します。は虫類・両生類や昆虫を主な餌にするサシバは、繁殖が終わると秋には越冬地に向かいます。サシバの繁殖環境は一般に、餌資源が多い水田と隣接する明るい林の里山です。

サシバの個体数は全国的に急速な減少傾向にあり、環境省は既刊「猛禽類保護の進め方」の別冊として、平成25年「サシバの保護の進め方」を公表しており、個体数減少が著しいことからRDB種に指定しています。

大阪府内でも、開発による消失や改変、耕作放棄による荒廃、または人工針葉樹林の成長などによってサシバの生息環境が損なわれ、生息数の減少が危惧されていますが、詳しい生息状況は把握されていません。

そこで公益社団法人大阪自然環境保全協会と日本野鳥の会大阪支部の有志が「サシバプロジェクト」を立ち上げ、2015年は既存資料の集約と、繁殖期である4月初旬から6月末にかけ、北摂と南大阪を中心に予備調査を実施しました。

南大阪地域では、数カ所で繁殖の可能性が高い、との報告がありましたが、北摂地域では、わずかな飛翔個体を確認したのみで、個体数の激減を実感しています。一方、大阪における繁殖適地の環境要素や、阻害要因を示唆する興味深い報告もあがっています。

来年は府下全域で本格調査を実施します。  
情報の提供、調査への参加など、ぜひご協力ください！

● サシバプロジェクトin大阪 事務局 ●

〒530-0041大阪市北区天神橋1-9-13ハイム天神橋203

公益社団法人 大阪自然環境保全協会・サシバP

TEL06-6242-8720 / FAX06-6881-8103

協会HP「サシバ生息状況調査」ご参照のうえ、

[お問合せフォーム](#) よりお問い合わせください